

# 友の会だより

No.63  
2021.2

茨城県陶芸美術館友の会

展 覧 会  
案 内

## オールドノリタケ×若林コレクション アールヌーヴォーからアールデコに咲いたデザイン

会 期：2021年4月17日（土）～6月27日（日）

主 催：茨城県陶芸美術館、東京新聞

オールドノリタケとは、現在のノリタケカンパニーリミテドのルーツ、森村組および日本陶器によって、明治中期から第二次世界大戦終結までにかけて製作・輸出された西洋風の陶磁器を指します。このたび、長らく歴史のなかに埋もれていた

オールドノリタケの価値を見だし、再評価の機運を盛り上げるべくご尽力されてきた若林経子氏による日本屈指のオールドノリタケコレクションの優品が一堂に会します。

本企画ではオールドノリタケを、「モチーフ」「スタイル」「テクニク」「ファンクション」の4つの観点から読み解きます。多種多様な意匠、技法、器種を網羅する若林コレクションを異なる角度から光を当てる本展覧会では、国際化の時代にあって独自の表現を花開かせたオールドノリタケの多様性を、存分に感じていただけることでしょう。



▲色絵金盛薔薇文飾壺  
(1891-1921年頃)



▲色絵モールド栗鼠文飾皿  
(1911-21年頃)



▲コバルト金彩ティーセット (1908年以降)



▲色絵ラスター彩格子文化粧・香水瓶 (1918-1941年頃)

※すべて若林コレクション

### ◆ 展覧会関連催事のご案内

\* 詳細は、チラシや当館ウェブサイト等をご覧ください。

#### ◆ ギャラリートーク（先着15名）[予約不要]

※新型コロナウイルス感染防止対策のため人数を制限いたします。

担当学芸員が展覧会をご案内いたします。

日 時：未定（ホームページ、チラシ等でご確認ください。）

会 場：当館地下1階 企画展示室

参加費：無料、観覧料にてご聴講いただけます。

\* 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況により予告なくイベント等中止・延期する場合がございます。変更の場合には、当館ウェブサイトにてお知らせいたします。

茨城県陶芸美術館ホームページ <http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

# 人生に無駄はない

近藤文さんを訪ねて (12月22日)

低い山並みを望む笠間のなだらかな丘に囲まれた工房で、鉛色の釉薬が美しく光る器を制作している近藤文さんを訪ねお話を伺いました。



## ご出身は

秋田県です。

## 陶芸の道に進まれた経緯についてお聞かせください。

横浜の大学に進学し、両親が教員だったこともあり卒業後は横浜の中学校で英語の教師として勤務しました。外国を旅することに夢中になっていた時期で、学生時代にはヨーロッパやアフリカなどを旅しました。最初から3年で区切りをつけるつもりでしたので退職し別の道を模索しました。アジアを旅した時にひとりの若い大工さんに出会いました。仕事をしながら南極へ行くという目標を持って旅をしているとのことでした。手に職を持った生き方に強く感銘を受け、自分の手で何かを生み出す仕事をしたいと思うようになりました。友達の誘いで益子を訪れ、陶芸と出会いました。オーストラリアで日本語の教師になるか陶芸の道に進むか悩んだ末、陶芸の道に進むことを決心し益子に移住しました。

## 作品作りについてお聞かせ下さい。

益子の共販センターで、陶芸教室の講師として働きながら、夕方からは作陶の自主学習の生活が始まりました。たくさんの方に出会い横のつながりが広がり、製陶所で勤務した後益子で独立しました。1年ほどで笠間に移り現在に至っています。益子での経験から、鉛釉や並白釉、糖白釉などの伝統釉薬に親しみがありません。特に鉄の発色の美しい鉛釉を好んで用いています。また、泥をスポイトで盛り上げて装飾する「イッチン」という技法で唐草模様などの作品を多く作っています。唐草模様は、いろいろな縁を絡み繋ぐ永遠の意味をもち、世界中で伝統的な柄となっています。外国を旅することで人や、文化、食べ物に接して肌で感じてきたことが制作のベースになっています。

## これからの方向性についてお聞かせ下さい。

しばらくは今の作陶スタイルをブラッシュアップしていきたいと考えています。好きなことを進めていけば、それが自分の道になると信じて、多くの人に愛される物（そばに置いておきたい、触りたい、愛でたい）が作れたらと思っています。今はガス窯を使用していますが薪窯にも興味があります。知り合いの薪釜を手伝ったときに、土によって焼き上がりの違いに驚かされました。また、仕事の過程で生じる「焼き損じたち」を不燃ゴミにするのではなくもう一度再生できたらとの思いで、不要になった陶器を粉碎した再生土を使った作品作りを笠間・益子で活動する陶芸家と実験したりもしました。迷いながら自分の道を探ってきましたが作陶のゴールを80歳と考えたら気持ちが楽になりました。いろいろな方との出会いを大切に、これからも教えていただきながら作陶していきたいと思っています

## プロフィール

- 1992 横浜市立大学文理学部国際関係学科卒業
- 1996 栃木県益子町にてやきものを始める  
製陶所に勤務  
栗原節夫氏のもとで修行を重ねる
- 2001 笠間市に築窯



## 対談を終えて

深い鉛色の釉薬と繊細なタッチで描かれるイッチン技法による近藤さんの作品は温かみがあり唐草模様はエキゾチックな雰囲気醸し出しています。いろいろ悩みながら制作してきたと話す近藤さんですが、これからも大好きな鉛釉を使って愛される物を作っていくのだろうと感じました。

# 友の会発足20周年

平成12年の茨城県陶芸美術館開館とともに発足した友の会も20周年を迎えました。この間、地元笠間市を中心に多くの方にご入会いただき、美術館の活動に協力するとともに会員相互の親睦を深めることを目的として活動を続けて参りました。

しかし、令和2年は新型コロナウイルス感染症が世界中に大きな混乱を招き、日本でも感染の拡大が大きな不安をもたらし、経済にも暗い影を落としています。美術館では開館20周年記念事業を延期、友の会でも予定していた会議や研修視察等を中止とさせていただきます。一日も早く収束し以前の生活を取り戻せることを願うばかりです。

そんな中、6月に笠間市にとって大変明るいニュースがありました。笠間市が栃木県益子町と文化庁に共同申請した「かさましこ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～」が伝統や文化が醸成された物語を審査対象とする日本遺産に認定されました。認定を受け、両市町では焼き物文化を軸に日本遺産制度の認知向上や歴史や文化財への理解を深める基盤事業が始まりました。さらに、情報の発信や人材育成・環境整備を進め地域の活性化を図っていくことになり笠間焼の認知度が増しブランド力の向上が期待されます。美術館では、延期した笠間陶芸大賞展等の開館20周年記念事業を令和3年度に実施します。友の会といたしましても、美術館の活動への協力とともに会員の皆様に満足いただけるよう活動の充実を図っていきたく考えています。今後とも皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

茨城県陶芸美術館友の会 会長 塙 東男

## 友の会 トピックス

## ヨーロッパ磁器絵付け講座のご案内

ヨーロッパ磁器絵付けは、絵の具の数も多く、絵の具と同じ色調で焼成され、手軽なホビーとして同好者が増えています。スイス・ニヨン焼をメインとし、マイセン・スタイル、ウィーン・スタイル等々の花、動物、ポートレート等、磁器に絵付け焼成します。

日時：令和3年3月20日(土)・3月26日(金) 両日とも午前10時～午後4時

場所：茨城県陶芸美術館 1F多目的室

講師：マリア・テレサ・ルーディー横田先生

受講料：5,000円(教材費・絵の具代等)

募集人員：16人(初心者歓迎)

申し込み：2月26日(火)までに電話またはFAXでお申し込みください。

その他：会員以外の方をお誘いいただいても結構です。希望者が多数の場合は先着順になります。

コロナウイルス感染状況によっては募集後に中止とさせていただきます場合もあります。



## 会員募集

茨城県陶芸美術館友の会では、会員を随時募集しています。

陶芸が好き、陶芸についてもっと知りたい、体験してみたい…そんなあなたの期待に応えます。

年会費 3,000円(夫婦会員は2人で5,000円)

**特典1** 常設展が、何度でも無料で観覧できます。

**特典2** 企画展が年2回まで無料で観覧できます。

**特典3** 会報の無料配付(年3回)を受けられます。

**特典4** 特約店において、陶磁器等の購入で割引が受けられます。

**特典5** 友の会主催の各種事業に参加できます。

お問合せは茨城県陶芸美術館友の会事務局までお願いします。

茨城県陶芸美術館友の会事務局(茨城県陶芸美術館内) 電話 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012



# 良い品をそろえてご来店をお待ちしています

## 友の会特約店のご紹介

- アトリエ・フラスカ 0296-72-9322
- 笠間工芸の丘 0296-70-1313
- 2月17日(水)～2月28日(日) 陶芸大学校一年後展
- 3月3日(水)～3月14日(日) 町田幸新作展
- 3月3日(水)～3月14日(日) 小峰尚・陶・新作展
- 3月17日(水)～3月28日(日) 土ものがたりー前野とも子ー
- 3月17日(水)～3月28日(日) ローランド・サクセ作陶展
- 3月31日(水)～4月18日(日) 長山六作陶展ー井上卓ー
- 4月21日(水)～7月19日(月) 笠間焼協同組合青年部展
- 4月21日(水)～5月30日(日) 新進作家陶芸展
- 笠間民芸 0296-72-9280
- かつら陶芸 0296-72-6688
- ギャラリー桜 0296-72-0803
- ギャラリー爽鳳SOHO 0296-72-9121
- ギャラリー舞台 0296-73-0700
- 1月26日(火)～2月28日(日) 稻吉善光マンスリー展示
- 笠間焼窯元共販センター 0296-72-5665
- きらら館 0296-72-3109
- 3月9日(火)～3月21日(日) 吉田 丈・樋口早苗 2人展
- 3月23日(火)～4月4日(日) かとうゆみ・粕谷恵・ホソカワカオリ 3人展
- 4月6日(火)～4月18日(日) 岩元鍾平 作陶展
- 5月7日(金)～5月16日(日) あじさい工房 谷口将海 作陶展
- 5月18日(火)～5月30日(日) 駒澤博司 作陶展

- 向山窯 0296-72-0194
- 丹野陶房 0296-72-4028
- 陶芸館 0296-72-6650
- ギャラリー陶正 0296-72-4007
- 東風舎 0296-72-5205
- 無限堂 0296-72-1695
- やまさき陶苑 0296-72-6865
- 涼 0296-72-0712
- ミュージアムショップ(館内) 0296-72-7105
- 3月21日(日)まで 「人間国宝 松井康生と原清展」関連商品販売
- 4月17日(土)～6月27日(日) 「オールドノリタケ展」関連商品販売
- レストラン「風の丘」(館内) 0296-72-0197

各店舗で買物をされる際、会員証を提示していただくと、陶器が10%割引となります。(一部除外品があります。) 笠間工芸の丘は体験のみ対象です。レストラン「風の丘」は飲み物サービスとなります。

### 編集委員会 からの お知らせ

### 編集委員募集のご案内

年3回発行「友の会だより」を  
仲間と一緒に作ってみませんか。

《会報は、編集委員と事務局員によって次により作られます》

- 発刊内容の検討・協議(対談作家の決定) …… 年度当初
- 対談作家訪問(全員) …… 年3回(各回2時間程度)
- 原稿取りまとめ(内容・文面検討) …… メール等でやり取り

※友の会より実費相当の交通費が支払われます。

### 編集後記

煩わしく思ったマスクにも慣れましたが、旅行がしたいと思う気持ちは強まりました。ワクチンの接種も始まる予定と聞いています。一日も早いコロナ禍の収束を願いながら友の会だよりNo.63をお届けします。

### 友の会だより No.63

発行：令和3年2月1日  
編集・発行：茨城県陶芸美術館友の会  
〒309-1611 笠間市笠間2345  
電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012  
編集委員：小葉 和子 鈴木 充 木川るりこ